

令和2年度 公共事業再評価調査

(区分) 国補 ・ 県単

1. 事業説明シート

事業名	治水事業 [基幹河川改修事業 (国補)]		事業箇所	甲府市城東～相生	地区名	濁川	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	変更計画		(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)			
	H22～R6	—	H22～R11					
総事業費	5,200 百万円	—	5,270 百万円		①地域・住民の意向状況 なし ②産業・経済情勢 なし ③国等の方針 なし ④上位計画・関連事業計画等 ・「山梨県総合計画」(R元.12) ・「山梨県強靱化計画(改訂版)」(R2.3) ・「山梨県社会資本整備重点計画(第四次)」(R2.3) ⑤自然環境条件等 本事業箇所は市街地であり、自然環境への影響は少ない。 ⑥その他 なし (3) 評価項目 [評価時点の費用対効果分析]			
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果 甲府市を流れる濁川の城東～相生地区は、計画流量43m ³ /sに対して現況の流下能力は12m ³ /s(約30%)程度と河道が狭小で、かつ流路が屈曲していることから洪水被害を繰り返してきた経過があり、治水安全度の向上を図る必要がある。また、同時期に甲府市が同区間に隣接した都市計画道路、和戸町竜王線事業に着手予定であり、相互に関連する事業であることから、事業間の連携を図っていく必要がある。 □主要目標 ○洪水被害の防止 改修目標流量に対する現況流下能力の割合: 0.3 < 0.4※以下 浸水被害又は水防活動の実績: 有 想定氾濫区域内における災害発生時の影響: 有 ※評価基準値 □副次目標 ○なし □副次効果 ○被災時の被害波及の防止、他事業との一体的施工								
②事業概要 甲府市城東～相生地区において、河積の拡大・バイパス水路整備による流下能力の向上 全体計画施工延長 L=1,635m 治水安全度 1/2.4 → 1/50								
③全体計画								
現計画	工事内容	測量試験 用地補償: 1式 物件補償: 1式	用地補償: 1式 物件補償: 1式					
		事業費 625 百万円	40 百万円					
変更計画	工事内容	測量試験 用地補償: 1式 物件補償: 1式	用地補償: 1式 物件補償: 1式	護岸: 705m サイフォン: 930m 道路橋: 5橋 用地補償: 1式 物件補償: 1式				
		事業費 625 百万円	40 百万円	4,605 百万円				
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。								
④特記事項 (関連事業概要等) ・緊急街路整備事業 都市計画道路和戸町竜王線								
⑤これまでの評価状況 (平成21年度事前評価) ・評価委員会意見: 事業期間が15年間と長期に及ぶため、都市計画道路事業等の調整を図りながら時間管理を徹底し、事業の円滑な進捗に努められたい。								
経済効率性		費用	3,460 百万円	4,698 百万円				
		建設費	3,440 百万円	4,300 百万円				
		維持管理費	20 百万円	398 百万円				
		その他()	百万円	百万円				
		便益	37,210 百万円	48,379 百万円				
		便益	37,190 百万円	48,357 百万円				
		残存価値	20 百万円	22 百万円				
			百万円	百万円				
		その他※	百万円	百万円				
		B/C	10.8	10.3				
費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。								

2.評価シート

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①これまでの計画変更等の概要 なし</p> <p>②進捗率 別表のとおり</p> <p>③事業進捗が順調でない理由 事業計画箇所最下流部に当たる河道改修区間において、起業予定地のうち約半分を占める筆界未定地の解消に時間を要し事業の進捗に遅れが生じた。</p> <p>④今後の事業執行上の問題点 なし</p> <p>⑤変更計画の進捗予定(期間) 事業期間を5年延長し、令和11年度の完成を目指す。</p>	<p>⑥変更計画の変更内容(事業費)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width:30%;">変更工種等</th> <th style="width:30%;">事業費増減</th> <th style="width:40%;">変更理由</th> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>70 百万円 増</td> <td>物件補償費の増額</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円 増減</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円 増減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>70 百万円増</td> <td></td> </tr> </table> <p>(5) 評価項目 [環境負荷等への配慮] なし</p> <p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性] なし</p> <p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性] なし</p> <p>(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他() (理由) 甲府市との協調により筆界未定地の解消に目処が立ったことから、事業期間についてこれまで進捗の遅れなかった5年の延長を行い、R11年度の完成を目指す。</p>	変更工種等	事業費増減	変更理由	用地補償	70 百万円 増	物件補償費の増額		百万円 増減			百万円 増減		合計	70 百万円増	
変更工種等	事業費増減	変更理由														
用地補償	70 百万円 増	物件補償費の増額														
	百万円 増減															
	百万円 増減															
合計	70 百万円増															

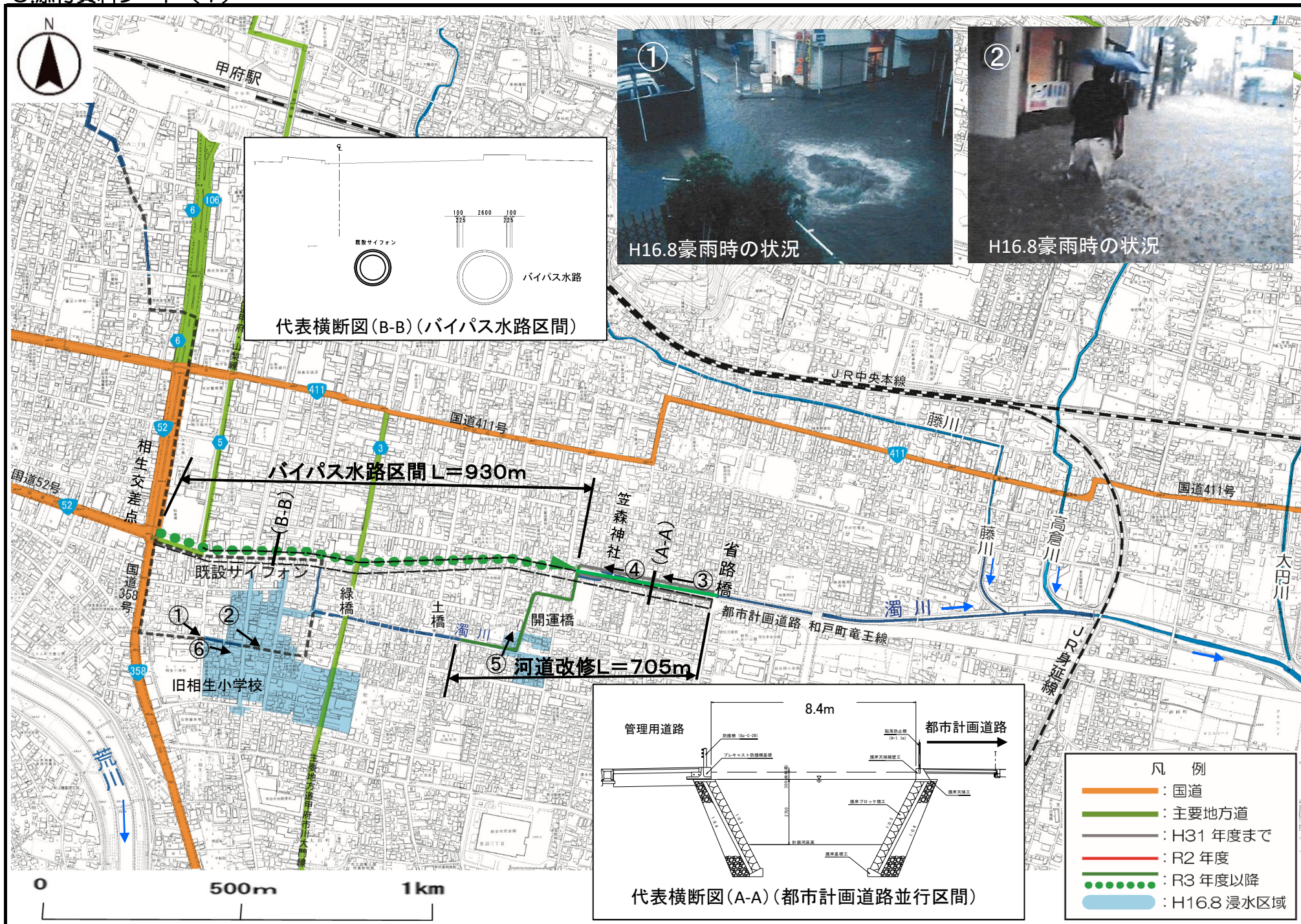
○別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

		年度	*H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	*R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
現	計画		0.6%	1.2%	1.7%	2.3%	9.5%	16.6%	23.8%	29.6%	35.4%	41.2%	51.3%	63.4%	75.6%	87.8%	100.0%				
	実績		0.6%	0.8%	0.9%	1.3%	1.5%	2.3%	3.1%	3.8%	10.9%	12.0%	12.8%								
変更計画													12.6%	15.5%	18.9%	22.2%	26.0%	30.4%	35.6%	58.8%	
		年度	R10	R11																	
現	計画																				
	実績																				
変更計画			80.2%	100.0%																	

*事業着手年度又は評価年度

3. 添付資料シート (1)



3. 添付資料シート (2)

③ 省路橋上流付近



④ 笠森神社付近屈曲部



⑤ 開運橋上流屈曲部



⑥ 平和通り東側の開渠区間



4.年度別事業費内訳表(変更計画の内容)

年度	見直し後事業費 (千円)	事業概要	進捗率
H22	30,000	測量、設計、調査	0.6%
H23	10,000	測量、設計、調査	0.8%
H24	10,000	測量、設計、調査	0.9%
H25	20,000	測量、設計、調査	1.3%
H26	10,000	測量、設計、調査	1.5%
H27	40,000	測量、設計、調査	2.3%
H28	40,000	用地、補償	3.0%
H29	40,000	用地、補償	3.8%
H30	365,000	用地、補償	10.7%
H31	60,000	用地、補償	11.9%
R2	40,000	用地、補償	12.6%
R3	150,000	用地、補償、護岸工	15.5%
R4	180,000	用地、補償、護岸工、道路橋	18.9%
R5	175,000	用地、補償、護岸工、道路橋	22.2%
R6	200,000	用地、補償、護岸工、道路橋	26.0%
R7	230,000	用地、補償、護岸工、道路橋	30.4%
R8	275,000	用地、補償、護岸工、道路橋	35.6%
R9	1,225,000	護岸工、サイフォン	58.8%
R10	1,125,000	護岸工、サイフォン	80.2%
R11	1,045,000	護岸工、サイフォン	100.0%
合計	5,270,000		